

応募時の注意事項

- ◎感想文を応募していただくときには、特に次の①～⑤の事項についてご注意ください。
 - ◎③で必要な「応募票」「応募申請用紙」は、右ページに掲載してあります。
- ※必要数を原寸大でコピーしてご利用ください。

審査基準

- 作品が十分読みこなされていて、感想に対して根拠があること。
- 文章が平明であり、自分のことばになっていること。
- 書かれた主旨が明確であり、しかもそれは学年相応のものであること。
- 文章は筋が通っていて、聞く人や読む人に対して説得力があること。
- 感想の観点が、その人の個性的なものであり、かつ、それはまた素直なものであること。

1 字数など

- ・400字詰め原稿用紙に縦書き、自筆とする。(コピー・ワープロは不可)
- ※1年は240字詰め原稿用紙も可

- 1年 …………… 400字～1200字以内
- 2年 …………… 800字～1200字以内
- 3・4年 ……… 1200字～1600字以内
- 5・6年 ……… 1600字～2000字以内

- ・題名、学校名、学年、名まえ及び、そのための空白は字数に含む。
- ・改行のための空白は字数に含む。
- ・句読点等は字数に含む。

2 原稿用紙の使い方

- ・第1行目に「題名」を書く。
- ・第2行目に「学校名」「学年」「名まえ」を書く。※長くなる場合は2行も可
- ・次の行から作文を書き始める。※文字は原稿用紙のマス目に書く。

3 応募票・応募申請用紙(右ページに掲載)

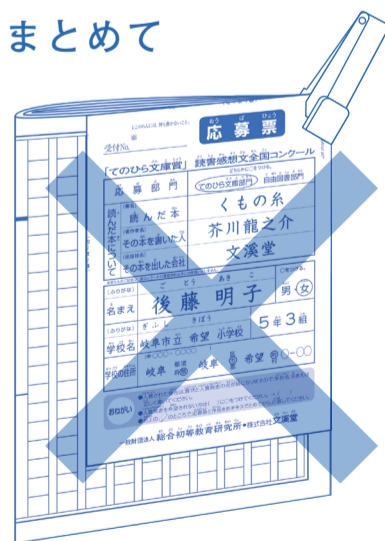
- ・「応募票」に必要事項を記入し、作品と一緒にとじる。
- ・「応募申請用紙」に必要事項を記入し、作品と一緒に送る。

4 原稿用紙のとじ方

- ・1枚1枚、原稿用紙の表面を外側にして二つに折る。
- ↓
- ・折った原稿用紙を順番に重ねる。
- ↓
- ・作品の一番上に「応募票」を添付する。
- ↓
- ・右肩をとじる。



原稿用紙をまとめてとじない。



5 応募された作品について

- ・作品は返却いたしません。必要に応じてあらかじめコピーなどをおとりください。